

http://www.labornetjp.org

Newsletter
No. 35
2009年11月15日

発行 レイバーネット日本
〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
http://www.labornetjp.org
labor-staff@labornetjp.org
電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

つくる・変える・楽しむ

レイバーフェスタ 2009 開催へ

はたらくもののお祭り、レイバーフェスタは年々進化を遂げ、今年で8回目。昨年はワーキングプア川柳が登場し、5・7・5の言葉による表現力が注目を浴びましたが、今年は、いよいよ音楽の出番です。新企画「レイバーソングをつくろう・歌おう」は3分ビデオの音楽版。日頃たたかひの現場などで歌っているグループ・個人が5分間のなかで、替え歌やオリジナルソングを披露します。レイバーフェスタの主役はあなたです。3分ビデオ・川柳・音楽・漫画 etc.

場所 東京ウィメンズプラザホール
参加費 一般当日 2000円(前売・予約1700円)
*賛同人・障がい者・学生・失業者 各200円引き
主催 レイバーフェスタ2009実行委員会
(責任団体 レイバーネット日本)
TEL03-3530-8588
http://laborfesta.exblog.jp/

あなたの得意な分野で、思いや怒りを表現してみませんか。また今年のメインの映画は、スーパーのレジで働く韓国女性労働者のたたかひを描いた新作ドキュメンタリー「外泊」です。「労働問題なんか関係ない」と思っているあなたも、心に響く作品や歌声に触れることで、新しい何かが始まるかもしれません。



韓国最新ドキュメンタリー映画
「Weabak：外泊」東西で上映
初めての「外泊」でたたかひた女性労働者たち

2007年6月、韓国的大型スーパー・ホームエバーの女性労働者たち500余名は、非正規労働者に対する一方的大量解雇通告に対する強い怒りから売場占拠の実力行動に入った。日常のレジ打ちの仕事場は毛布を持ち込んでの「ストライキ空間」となり、いつしか510日間におよぶ長期のたたかひの共同体となっていく。だが「泊まり込み闘争」は「外泊」に対する家族(とりわけ夫)の理解と協力なしにはできない。「外泊」! 家を空け家事から解放されて仲間と苦楽を共にし、たたかひ、自分を語り、歌い踊り泣き笑う。家族に対する後ろめたさにもかかわらず感じるワクワクする高揚感と闘争への確信! 映画は韓国社会を揺り動かした既婚女性労働者たちのユニークな生き生きとした労働運動を、感性豊かなジェンダー視点から描いて多くの問題を語りかけている。キム ミレ監督・2009年・73分・山形映画祭招待作品。(金元重・韓国労働運動研究家)

3分ビデオ・ワーキングプア川柳・音楽大募集
ことしは恒例の3分ビデオに加えて、ワーキングプア川柳(お題あり)とレイバーソングを広く公募します。ぜひみなさん、ふるってご参加ください。詳細はチラシをご覧ください。

2009年は民衆の怒りの中で、歴史的政権交代が起きた年。これからの時代をよくするのも悪くするのも、私たち市民やはたらくものの「運動」と「文化」です。さあ一緒に、12月19日は東京ウィメンズプラザで、つくろう! 変えよう! 楽しもう!
(大阪は、12月13日エルおおさか南館5Fホールです。P3参照。)

<主なプログラム(東京)>

- 2009.12.19 (sat) 10時30分開場
- 11:00 演劇「独りではない」
- 13:10 韓国ドキュメンタリー映画「外泊」
- 14:45 在日ラテン労働者演劇
- 15:20 フォルクローレ演奏と踊り
- 15:50 レイバーソングをつくろう・歌おう
- 16:50 八木啓代が歌う中南米「新しい歌」
- 17:50 3分ビデオ20本一挙上映
- 20:10 寿 kotobuki

レイバーフェスタ音楽部門に新風

ラテンアメリカの「新しい歌運動」のめざしたもの

ラテンアメリカの「新しい歌運動」というと、まずビクトル・ハラやキラパジュンの名前を思い出す人が多いのではないだろうか。1970年代のチリの革命（アジェンデ社会主義政権の確立）と反革命の中で、ビクトル・ハラはピノチェットの軍隊に、ギターを弾く腕を折られ銃殺された。彼の歌った『ベンセレーモス』や『平和に生きる権利』は、いまでも世界中で歌われている。



ビオレータ・パラ

1960年代以降ラテンアメリカ各地で大きな盛り上がりをもせた「新しい歌運動」は、アメリカの経済的搾取とアメリカ文化の席卷に対抗し、音楽を通じたアイデンティティの確立と社会変革をめざした。その先駆者のひとりに、「新しい歌運動の母」と呼ばれ、ビクトル・ハラにも影響を与えたビオレータ・パラ（1917～1967）がいる。彼女は、極貧の中で育ち、歌を歌って家計を助け、のちに兄の

すずめで民謡の採集を始めた。採集のためチリ各地をまわったビオレータは、不正と不平等の現実を目の当たりにする。現実に「ノー」を言うことから彼女の歌作りが始まった。
「 鉱夫たちの家を見たとき、私は思った。これじゃ、カタツムリの殻に住んだ方がマシだわ / 泥棒たちは巧妙に法律の影に隠れてる。太陽は頭上に燃える / 正義は葬られてしまった。道理も葬られてしまった。そして太陽は頭上に燃える / 鉱夫はもうすでに、その汗の価値さえ知らない、そして太陽は頭上に燃える（チリ北部の硝石鉱山の労働者を歌った歌）」

49歳でビオレータは自死した。死ぬ間際に書いた『人生よありがとう』は、聴く者の魂を揺さぶる名曲。今年10月亡くなったメルセデス・ソーサが歌い世界中にひろがった。

ビオレータの遺志を継いだビクトル・ハラはこの運動の精神を以下のように語っている。

「・・・私たちは、その時まで歌に歌われなかった真実を語りました。貧困を、貧困の元凶を告発しました。・・・新しい歌は歌います。本来自分のものでありながら他人のものになっている畑を、血と涙で潤している農民を。また、歌います、日毎、資本主義の害に押し潰されて死んでいく工場労働者を・・・」。「貧困」や「非正規」が日常となった今の日本で、ビクトル・ハラのことばは重くひびく。そして私たちの歌作りの進路もここに示されているような気がする。

レイバーフェスタ2009では、歌手でありラテンアメリカに精通する八木啓代さんに「新しい歌運動」のレパートリーを歌い語ってもらうことになった。また「レイバーソングをつくろう、歌おう」のコーナーが新しくスタートする。日ごろ闘いの場で歌っているグループ・個人が替え歌やオリジナルソングを披露する。このふたつの企画が、日本の「新しい歌」を作る新たなきっかけになったらと、夢がふくらむ。（佐々木有美）



八木啓代さん

レイバーネットの新ブックレット、まもなく完成

レイバーフェスタで発売します

レイバーネットの新ブックレットが12月に発行されます。発足してから9年を経過したレイバーネットの活動を本格的に紹介する初めてのブックレット。現在、鋭意編集中。乞うご期待。以下、内容の一部紹介。「闘いは文化を生み、文化は闘いをすすめる」（佐々木有美）・「レイバーネットのこれまで」（伊藤彰信）・「3分ビデオづくりの精神」（木下昌明）・「レイバーネット報道のめざすもの」（松原明）・「報道の現場から」（湯本雅典・横山隆英）・「言葉の

壁を超えて日本の労働者や市民の現実を世界に発信」（高幣真公）・「音楽・文化を通しての労働運動交流」（尾澤邦子）・「メッセージソングを聴いて作って歌って労働運動を盛り上げよう」（ジョニーH）・「ワーキングプア川柳の時代」（わかち愛・乱鬼龍）・「育ててもらった『フツの仕事 がしたい』（土屋トカチ）その他、漫画・座談会など盛り沢山。レイバーフェスタ2009の会場で発売します！！

レイバーフェスタ 2009 大阪

12月13日(日) 10:30 開場 11:00 開演
 会場: エルおおさか南館 5F ホール
 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅から徒歩西へ300m
 参加費: 当日1,200円 前売1,000円 学生・失業者・障がい者1,000円
 主催: レイバーフェスタ大阪実行委員会
 協力: 連連影展FAV・山形国際ドキュメンタリー映画祭

プログラム

11:00 公募3分間ビデオ1(東京作品)
 12:30 長編ドキュメント『外泊』
 14:15 創作落語と寸劇
 15:15 公募3分間ビデオ2(関西作品)
 16:30 終了予定
 途中3回の休憩タイムをはさみます

- ・創作「レイバー」落語 鈴馬亭小ふゑす他
- ・寸劇「いこる座」

働く女性の人権センター「いこる」が、労働契約や就業規則についての分かりやすい解説を寸劇に仕立てた。秋の講座のために用意した新作2題。「弁当製造業の早上がり」と「わたしにもとれる介護・育児休暇」

公募3分間ビデオ

映像で観る「アナタの仕事・ワタシの権利」

レイバーフェスタが切り開いた新しい映像表現、一般公募による自主制作3分ビデオです。働く人たちの姿や声、問題提起を3分の映像にまとめてください。

例年通り、東京とも提携して相互に上映する予定です。応募希望者は、著作権をクリアしたうえで、タイトル・制作者・連絡先を明記し、DVミニで大阪フェスタ事務局まで送付してください。

応募締め切り / 09年11月末日

お問い合わせ・作品応募先

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-2 チサンマンション新大阪707 ビデオ工房 AKAME 気付
 TEL & FAX: 06-4805-0234
 メール: fffesta@yahoo.co.jp
 ホームページ: <http://labour.blog71.fc2.com>



英・レインダンス映画祭で「フツの仕事がしたい」が大賞

レイバーネット事務局長の土屋トカチさんがつくった「フツの仕事がしたい」がイギリスのレインダンス映画祭のドキュメンタリー部門で大賞をとった。これは素晴らしい出来事だったが、それを伝えることそのものが、レイバーネットの「情報ネットワーク」のチカラを示すことになった。そして、川柳が結びついた。以下、流れを紹介する。

第一報 ロンドン留学中の会員・松浦さと子さんの速報 (10月10日)

10月10日、ロンドンで開催されたレインダンス映画祭で、土屋トカチさんの「A Normal Life Please (フツの仕事がしたい)」が上映され、好評を博しました。上映前に土屋さんは、「ユニオンはイギリスのパブから始まったと聞いています。そのイギリスで上映できて光栄です。今日はよろしくお願ひします」と挨拶しました。

上映後、司会者から「500時間はひどいね」と切り出された土屋さんは、悪化する日本の建設業界の実態を語りました。「もともとの原因は、1985年の労働者派遣法改悪で、こうした労働者に不利な方法はサッチャー政権をまねたもので、イギリスから輸入したようなものです」と語ると、会場から「そのとおりだね」との声も上がりました。



第二報 松浦さと子さん (10月12日)

いきなりロンドン特派員の松浦さと子です。土屋トカチさんのドキュメンタリー「フツの仕事がしたい」英語版「A Normal Life Please」が、ロンドンで開催された第17回レインダンスフィルムフェスティバルのドキュメンタリー部門で大賞に輝きました。ついさっきのことです。トカチさんは受賞パーティに移動されたと思いますが、私は速報を、と会場から走って帰ってきて、「えい、つながれ」と送ります。

< P 4 下段へ続く >

派遣法抜本改正は「天下分け目のたたかい」

貧困問題の根っこにあるのが、「労働者派遣法」。この抜本改正を求める運動がきわめて重要となっている。10月29日の大集会のレポートと鎌田慧さんの発言を紹介する。

やらずボッタクリ法はいらない！～派遣法改正求める集會に2500人

雇用情勢がさらに厳しさを増すなか、労働者派遣法の抜本改正を求める集會が10月29日夜、都内で開かれた。会場の日比谷野外音楽堂には2500人が集まり、参加者は連立政権に登録型派遣の原則禁止、公約実現などを求めて氣勢をあげた。ステージで発言した与野党の国会議員らに対しても、熱い激励と厳しい注文が相次いだ。ルポライターの鎌田慧さんは、「派遣法は、やらずボッタクリ法だ。派遣法を改正することは、ピンハネの利益を守ろうとする経営者との、天下分け目の闘いだ。」「新政権は若い人たちに夢と希望を与えなければならない。人間はモノじゃない。」「人件費を、人権を守る人権費に変えていこう。人間らしい生活ができるようにがんばろう」と訴えた。閉会后、国会請願デモに出発。衆参各議員面会所前で待ち構える各党の議員らとともに力強いシュプレヒコールを繰り返した。(報道部・Y)

鎌田慧さんの発言要旨

この運動とおして日本の労働運動の再生を！

労働者派遣法とは何でしょうか？ 派遣法は、労働者に対する「やらずボッタクリ法」です。労働者に還元しない「ピンハネ法」です。労働者からピンハネする労働者供給事業は産業民主主義の原則からも本来認められない産業です。それを先進諸国で日本だけがピンハネする労働者派遣法を許してしまったわけです。経営者が派遣法抜本改正に抵抗しているのは、彼らがこれまでピンハネによって得てきた利益、あるいは派遣労働者の低賃金によって、あるいは派遣労働者の解雇自由によって、経営者が得てきた原始的蓄積を少しでも奪われたくないからです。ですから現在の労使対立は、この労働者派遣法をめぐる天下分け目のたたかいになっているのです。

派遣法抜本改正には労働者の未来がかかっています。連合は立ち上がってください。この取り組みに



労働者からピンハネする労働者供給事業は産業民主主義の原則からも本来認められない産業です。それを先進諸国で日本だけがピンハネする労働者派遣法を許してしまったわけです。経営者が派遣法抜本改正に抵抗しているのは、彼らがこれまでピンハネによって得てきた利益、あるいは派遣労働者の低賃金によって、あるいは派遣労働者の解雇自由によって、経営者が得てきた原始的蓄積を少しでも奪われたくないからです。ですから現在の労使対立は、この労働者派遣法をめぐる天下分け目のたたかいになっているのです。



労働者派遣法の抜本改正を求める集會(10/29 日比谷野音)

よって日本の労働運動を再生していくのです。今まで「人件費」の「件」は「物件」の「件」でしたが、しかし、これからの「人件費」は「人権」の「権」人間が生きていく「権利」のための「人権費」にしなければいけません。人間は「物件費」じゃないんだ。人間は「物体」じゃないんだ。人間は取り替え可能な「部品」じゃない。いつでも取り替えられるモノじゃない。人間らしさを取り戻すため、人権を守るためにも労働者派遣法の抜本改正を勝ち取りましょう。

< P 3 からの続き >

これに対してメーリングリストでは喜びの川柳投稿が相次ぎました。

かつて誤報 いまドリームズ カムトゥルー (亜北斎)
 レイバーの 本家もびっくり 500時間(とき) (一志)
 受講生ら 恩師の快拳に 祝メール (かた原いた子)
 十勝産 ワインとともに 帰国待つ (同上)
 フツーでは とれぬ賞だと かちどきを (やせ蛙)
 祝杯を あげる準備は できている キコクマツ(わかち愛)
 映像と ともに進もう ユニオン力 (ぺんぺんぐさ)
 フツーの仕事 大きな仕事と なる(乱鬼龍)

土屋トカチさんも返礼・・・帰国の飛行機の中でトカチさんも初めて川柳を作りました。

ヤマガタの 裏で微笑む 踊り雨

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

現会員数 420名
 ウェブアクセス 1日1600

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
 郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
 レイバーネット日本事務局
 入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
 電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578